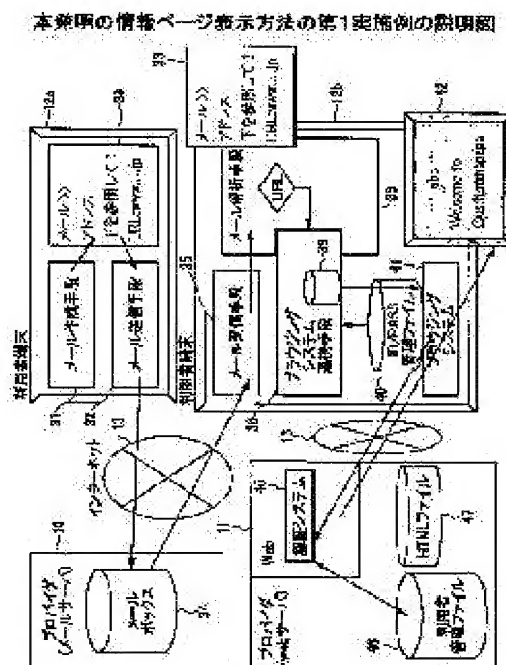


(11)Publication number : **2003-058476**
(43)Date of publication of application : **28.02.2003**

(71)Applicant : FUJITSU LTD
(72)Inventor : NAKUI YOSHIE

(57)Abstract:

SOLUTION: A computer 12b is allowed to execute an address retrieving procedure 36 for retrieving the address of an information page from an e-mail and an information page display procedure 39 for supplying the retrieved address of the information page to an information page acquisition display means 41 and allowing the means 41 to acquire the information page corresponding to the address from a network and display the acquired information page.



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンピュータに、
電子メールから情報ページのアドレスを検索するアドレス検索手順と、
検索した情報ページのアドレスを情報ページ取得表示手段に供給し、前記情報ページ取得表示手段に前記アドレスに応じた情報ページを所定のネットワークから取得させて表示させる情報ページ表示手順とを実行させる為の情報ページ表示プログラム。

【請求項 2】 コンピュータに、
電子メールから情報ページのアドレスを検索するアドレス検索手順と、
検索した情報ページのアドレスを情報ページ取得表示手段に供給し、前記情報ページ取得表示手段に前記アドレスに応じた情報ページを所定のネットワークから取得させて表示させる情報ページ表示手順とを実行させる為の情報ページ表示プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 3】 コンピュータを用いて所定のネットワークから情報ページを取得し、取得した情報ページを表示する情報ページ表示方法であって、
電子メールから情報ページのアドレスを検索するアドレス検索段階と、
検索した情報ページのアドレスを情報ページ取得表示手段に供給し、前記情報ページ取得表示手段に前記アドレスに応じた情報ページを所定のネットワークから取得させて表示させる情報ページ表示段階とを有することを特徴とする情報ページ表示方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、情報ページ表示プログラム、情報ページ表示プログラムを記録した記録媒体、情報ページ表示方法に係り、特に、電子メールに含まれたアドレスに応じて情報ページを表示する情報ページ表示プログラム、情報ページ表示プログラムを記録した記録媒体、情報ページ表示方法に関する。

【0002】

【従来の技術】例えば特定の相手に Web ページ等の URL (Uniform Resource Locator) を通知する場合、本文中に URL が記載された電子メールを送信する。電子メールの受信者は受信した電子メールを開くことで、本文中に記載された URL を確認する。電子メールの受信者はブラウザ (Browser) を起動し、ブラウザに URL を入力することで、URL に応じた Web ページを表示していた。

【0003】また、電子メールの受信者は受信した電子メールを開き、本文中に記載されたハイパーリンク (Hyperlinks) をクリックすることで、ブラウザを起動して URL に応じた Web ページを表示していた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本文中に URL が記載されている電子メールを受信した受信者は、電子メールを開き、本文中に記載された URL を確認し、ブラウザを起動し、ブラウザに URL を入力することで、URL に応じた Web ページを表示していた。また、本文中に URL が記載されている電子メールを受信した受信者は、電子メールを開き、本文中に記載されたハイパーリンクをクリックすることで、ブラウザを起動して URL に応じた Web ページを表示していた。

10 【0005】このように、電子メールを利用して URL を通知する場合、本文中に URL が記載されている電子メールを受信した受信者は、URL に応じた Web ページを表示するまでに多数の手順が必要であった。また、認証を行なう Web ページを表示する為には、更に多数の手順が必要であった。

【0006】したがって、電子メールを利用して URL を通知する場合、URL に応じた Web ページを表示する為に必要な手順が多いという問題があった。

20 【0007】本発明は、上記の点に鑑みなされたもので、電子メールに含まれる情報ページのアドレスに応じた情報ページを少ない手順で表示することが可能な情報ページ表示プログラム、情報ページ表示プログラムを記録した記録媒体、情報ページ表示方法を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】そこで、上記課題を解決するため、本発明の情報ページ表示プログラムは、コンピュータに、電子メールから情報ページのアドレスを検索するアドレス検索手順と、検索した情報ページのアドレスを情報ページ取得表示手段に供給し、前記情報ページ取得表示手段に前記アドレスに応じた情報ページを所定のネットワークから取得させて表示させる情報ページ表示手順とを実行させることを特徴とする。

30 【0009】また、本発明の記録媒体は、コンピュータに、電子メールから情報ページのアドレスを検索するアドレス検索手順と、検索した情報ページのアドレスを情報ページ取得表示手段に供給し、前記情報ページ取得表示手段に前記アドレスに応じた情報ページを所定のネットワークから取得させて表示させる情報ページ表示手順とを実行させる為の情報ページ表示プログラムを記録していることを特徴とする。

50 【0010】また、本発明の情報ページ表示方法は、コンピュータを用いて所定のネットワークから情報ページを取得し、取得した情報ページを表示する為に、電子メールから情報ページのアドレスを検索するアドレス検索段階と、検索した情報ページのアドレスを情報ページ取得表示手段に供給し、前記情報ページ取得表示手段に前記アドレスに応じた情報ページを所定のネットワークから取得させて表示させる情報ページ表示段階とを有することを特徴とする。

【0011】このように、電子メールから情報ページのアドレスを検索して情報ページ取得表示手段に供給することにより、情報ページ取得表示手段に情報ページのアドレスに応じた情報ページを所定のネットワークから取得させて表示させることができる。したがって、電子メールに含まれる情報ページのアドレスに応じた情報ページを少ない手順で表示することが可能である。

【0012】例えば電子メールを受信した受信者は、受信した電子メールを選択して開くことにより、その電子メールに含まれる情報ページのアドレスに応じた情報ページを表示することが可能である。

【0013】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態について図面に基いて説明する。

【0014】なお、本実施例では、ネットワークの一例としてインターネット（Internet）からURLに応じたWebページを取得して表示する例について説明するが、イントラネット（Intranet）、エクストラネット（Extranet）、LAN（Local Area Network）等、いかなるネットワークでもよい。

【0015】図1は、本発明の情報ページ表示方法を実現するシステムの一実施例の構成図を示す。図1のシステム1は、メールサーバ10、Webサーバ11、利用者端末12a～12nが、インターネット13を介して接続されている。メールサーバ10及びWebサーバ11は、例えばインターネット13への接続サービスを提供するプロバイダ（Provider）が管理する。

【0016】メールサーバ10は、メール送受信手段、メールボックス手段、メール管理手段などを備えている。また、Webサーバ11は利用者端末12a～12nからの要求に応じて、Webページ等のファイル又はデータを送出するデータ送出手段、メール作成手段、メール送受信手段、認証手段などを備えている。

【0017】利用者端末12a～12nは、電子メールを利用する利用者が操作するものであって、メール作成手段、メール送受信手段、メール解析手段、ブラウジングシステム、ブラウジングシステム連携手段などを備えている。ここで、メール解析手段は、電子メールの本文中に含まれるURLを解析するものである。

【0018】ブラウジング（ブラウザ）システムは、URLに応じたWebページをWebサーバ11から取得し、取得したWebページを表示するものである。また、ブラウジングシステム連携手段は、メール解析手段とブラウジングシステムとを連携させるものである。

【0019】利用者端末12a～12nは、例えば図2に表すように構成される。図2は、本発明の情報ページ表示方法を実現する利用者端末の一実施例の構成図を示す。図2の利用者端末12は、それぞれバスBで相互に接続されている入力装置21と、表示装置22と、ドライブ装置23と、記録媒体24と、補助記憶装置25

と、メモリ装置26と、演算処理装置27と、インターフェース装置28と、データベース（以下、DBという）29とを含むように構成される。

【0020】入力装置21は、利用者端末12の利用者が操作するキーボード及びマウスなどで構成され、利用者端末12に各種操作信号を入力するために用いられる。表示装置22は、利用者端末12を操作するのに必要な各種ウィンドウやデータ等を表示する。インターフェース装置28は、利用者端末12をインターネット13に接続する為のインターフェースであり、例えばモデム（MODEM）、ルータ（Router）等で構成される。

【0021】DB29は、本発明の情報ページ表示方法を実現する為に必要な各種情報、例えばブラウジング管理ファイル、URL別ID/パスワード管理ファイル等を格納している。なお、ブラウジング管理ファイル及びURL別ID/パスワード管理ファイルの詳細については後述する。

【0022】利用者端末12が利用する情報ページ表示プログラムは、CD-ROM等の記録媒体24によって提供される。記録媒体24は、CD-ROMの他、フレキシブルディスク、光磁気ディスク（MO）等の様に情報を光学的、電氣的或いは磁氣的に記録する記録媒体、ROM、フラッシュメモリ等の様に情報を電氣的に記録する半導体メモリ等、様々なタイプの記録媒体を用いることができる。

【0023】情報ページ表示プログラムを記録した記録媒体24は、ドライブ装置23にセットされ、情報ページ表示プログラムが記録媒体24からドライブ装置23を介して補助記憶装置25にインストールされる。

【0024】補助記憶装置25は、インストールされた情報ページ表示プログラムを格納すると共に、必要なファイル、データ等を格納する。メモリ装置26は、例えば利用者端末12の起動時に補助記憶装置25から情報ページ表示プログラムを読み出し、読み出した情報ページ表示プログラムを格納する。演算処理装置27は、メモリ装置26に読み出され格納された情報ページ表示プログラムに従って利用者端末12に係る処理を実行する。

【0025】以下、本発明の情報ページ表示方法を実現するシステム1の処理について、利用者端末12aから利用者端末12bにURLを通知する第1実施例と、Webサーバ11から利用者端末12bにURLを通知する第2実施例とに分けて説明していく。

【0026】図3は、本発明の情報ページ表示方法の第1実施例の説明図を示す。例えば利用者端末12aの利用者が利用者端末12bの利用者にURLを通知したいと考えた場合、利用者端末12aの利用者はメール作成手段31を利用して図4のような電子メール33を作成する。

【0027】図4は、URLを含む電子メールの一例の

イメージ図を示す。電子メール33は利用者端末12bの利用者宛であり、例えば本文中にURL30が記載されている。電子メール33の本文中に記載されたURL30は、利用者端末12aの利用者が利用者端末12bの利用者に通知したいと考えたURLである。

【0028】利用者端末12aの利用者は、メール送信手段32を利用して電子メール33をインターネット13に送信する。なお、利用者端末12aのメール作成手段31及びメール送信手段32は、例えばメーラ(Mailer)に含まれている。

【0029】メールサーバ10は、利用者端末12aから送信された電子メール33を受信してメールボックス(Mailbox)34に格納する。メールサーバ10は、利用者端末12bのメール受信手段35からの要求に応じて、利用者端末12bの利用者宛の電子メールをメール受信手段35に供給する。利用者端末12bは、例えば図5のような手順で処理を行なう。

【0030】図5は、URLを含む電子メールを受信した利用者端末の処理の一例のフローチャートを示す。ステップS10では、メール受信手段35がメールサーバ10から利用者端末12bの利用者宛の電子メールを受信する。なお、利用者端末12bのメール受信手段35は、例えばメーラに含まれている。

【0031】利用者端末12bの利用者は、例えば電子メールをポインタ(Pointer)でクリックすることにより、受信した電子メールを選択する。電子メールが選択されると、メール受信手段35は選択された図4のような電子メール33を開き、表示装置22に表示する。また、メール受信手段35は選択された電子メール33をメール解析手段36に供給する。

【0032】ステップS10に続いてステップS11に進み、メール解析手段36はメール受信手段35から供給された電子メール33を解析し、電子メール33に含まれるURL及びURL数を取得する。メール解析手段36は、電子メール33から取得したURL及びURL数をブラウジングシステム連携手段38に供給する。

【0033】ステップS11に続いてステップS12に進み、ブラウジングシステム連携手段38は、図6のようなブラウジング管理ファイル39から管理パラメータAを読み出す。

【0034】図6は、ブラウジング管理ファイルの一例の構成図を示す。ブラウジング管理ファイル39は、管理パラメータA、管理パラメータBなどの項目を含む。管理パラメータAは、電子メール33にURLが含まれていた場合に、そのURLに応じたWebページを開く(表示する)か否かを設定しているものである。例えば図6の管理パラメータAは、「0」がURLに応じたWebページを開く設定であり、「1」がURLに応じたWebページを開かない設定である。

【0035】管理パラメータBは、電子メール33に複

数のURLが含まれていた場合に、複数のURLに応じたWebページをどのように開くかを設定しているものである。例えば図6の管理パラメータBは、「0」が最初のURLに応じたWebページを開く設定であり、「1」が全部のURLに応じたWebページを開く設定である。

【0036】ステップS12に続いてステップS13に進み、ブラウジングシステム連携手段38は、ブラウジング管理ファイル39から読み出した管理パラメータAに基づき、URLに応じたWebページを開くか否かを判定する。URLに応じたWebページを開くと判定すると(S13においてYES)、ブラウジングシステム連携手段38はステップS14に進む。一方、URLに応じたWebページを開かないと判定すると(S13においてNO)、ブラウジングシステム連携手段38は処理を終了する。

【0037】ステップS14では、ブラウジングシステム連携手段38がURL数を判断する。ステップS14に続いてステップS15に進み、ブラウジングシステム連携手段38はURL数が「0」であるか否かを判定する。URL数が「0」でないと判定すると(S15においてNO)、ブラウジングシステム連携手段38はステップS16に進む。一方、URL数が「0」とであると判定すると(S15においてYES)、ブラウジングシステム連携手段38は処理を終了する。

【0038】ステップS16では、ブラウジングシステム連携手段38が図7のようなURL別ID/パスワード管理ファイル40を検索し、URLに対応するID及びパスワードがあればそのID及びパスワードを取得する。

【0039】図7は、URL別ID/パスワード管理ファイルの一例の構成図を示す。URL別ID/パスワード管理ファイル40は、URL、ID、パスワードなどの項目を含む。つまり、URL別ID/パスワード管理ファイル40は、URL別にID及びパスワードが設定されている。なお、履歴情報からURL別のID及びパスワードを設定するようにしてもよい。

【0040】例えば図7のURL別ID/パスワード管理ファイル40の場合、URL「www.proj.canpany.co.jp」に対応してID「member1」及びパスワード「password1」が設定されている。

【0041】ステップS16に続いてステップS17に進み、ブラウジングシステム連携手段38はURLに対応するID及びパスワードがURL別ID/パスワード管理ファイル40にあったか否かを判定する。URLに対応するID及びパスワードがあったと判定すると(S17においてYES)、ブラウジングシステム連携手段38はステップS18に進む。一方、URLに対応するID及びパスワードが無かったと判定すると(S17に

10

20

30

40

50

においてNO)、ブラウジングシステム連携手段38はステップS19に進む。

【0042】ステップS18では、ブラウジングシステム連携手段38がURLのパラメータにID及びパスワードを設定してステップS19に進む。例えばステップS18では、URLの文字列にID及びパスワードの文字列を追加する。

【0043】ステップS19では、ブラウジングシステム連携手段38がブラウジングシステム41を起動し、URLをブラウジングシステム41に供給する。ブラウ

ジングシステム41はブラウジングシステム連携手段38からURLが供給され、そのURLに応じたWebページをWebサーバ11に要求する。Webサーバ11は、例えば図8のような手順で処理を行なう。

【0044】図8は、Webサーバの処理の一例のフローチャートを示す。ステップS20では、利用者端末12bのブラウジングシステム41からWebサーバ11の認証システム45にURLが供給される。認証システム45は、そのURLに応じた認証処理情報を読み出す。

【0045】ステップS20に続いてステップS21に進み、認証システム45はステップS20で読み出した認証処理情報に応じて認証処理が必要であるか否かを判定する。認証処理が必要であると判定すると(S21においてYES)、認証システム45はステップS22に進む。一方、認証処理が必要でないと判定すると(S21においてNO)、認証システム45はステップS24に進む。

【0046】ステップS22では、認証システム45が供給されたURLのパラメータからID及びパスワードを取得する。認証システム45は利用者管理ファイル46を利用して、取得したID及びパスワードのチェックを行なう。利用者管理ファイル46は、利用者のID及びパスワードが含まれている。例えば認証システム45は、取得したID及びパスワードが利用者管理ファイル46に含まれているか否かのチェックを行なう。

【0047】ステップS22に続いてステップS23に進み、認証システム45は取得したID及びパスワードのチェックがOKと判定すると(S23においてYES)、ステップS24に進む。ステップS24では、Webサーバ11がHTMLファイル47からURLに応じたWebページを読み出し、そのWebページを利用者端末12bのブラウジングシステム41に送信する。

【0048】一方、認証システム45は、取得したID及びパスワードのチェックがOKでないと判定すると(S23においてNO)、ステップS25に進む。ステップS25では、Webサーバ11がHTMLファイル47から認証画面を読み出し、その認証画面を利用者端末12bのブラウジングシステム41に送信する。

【0049】利用者端末12bは、Webサーバ11か

らURLに応じたWebページ又は認証画面が供給され、例えば図9又は図10のような手順で処理を行なう。図9は、URLに応じたWebページが供給された場合の利用者端末の処理の一例のフローチャートを示す。また、図10は、認証画面が供給された場合の利用者端末の処理の一例のフローチャートを示す。

【0050】図9中、ステップS30では、Webサーバ11から利用者端末12bのブラウジングシステム41にWebページが供給される。ブラウジングシステム41は、供給されたWebページ42を表示装置22に表示する。

【0051】ステップS30に続いてステップS31に進み、ブラウジングシステム連携手段38はステップS11で取得したURL数から「1」を減算する。ステップS31に続いてステップS32に進み、ブラウジングシステム連携手段38は、ブラウジング管理ファイル39から管理パラメータBを読み出す。

【0052】ステップS32に続いてステップS33に進み、ブラウジングシステム連携手段38は、ブラウジング管理ファイル39から読み出した管理パラメータBに基づき、最初のURLに応じたWebページを開く設定(例えば、「0」)であるか否かを判定する。最初のURLに応じたWebページを開く設定であると判定すると(S33においてYES)、ブラウジングシステム連携手段38は処理を終了する。一方、最初のURLに応じたWebページを開く設定でないと判定すると(S33においてNO)、ブラウジングシステム連携手段38はステップS14に進む。

【0053】したがって、管理パラメータBが全部のURLに応じたWebページを開く設定である場合、ステップS15でURL数が「0」と判定されるまで図5、図8～図10のフローチャートが繰り返され、全部のURLに応じたWebを開くことができる。

【0054】図10中、ステップS40では、Webサーバ11から利用者端末12bのブラウジングシステム41に認証画面が供給される。ブラウジングシステム41は供給された認証画面を表示装置22に表示し、利用者にID及びパスワードの手動入力进行を要求する。

【0055】ステップS40に続いてステップS41に進み、ID及びパスワードが手動入力されると、ブラウジングシステム41は手動入力されたID及びパスワードをWebサーバ11の認証システム45に送信して処理を終了する。

【0056】したがって、図3の第1実施例によれば、利用者端末12bの利用者はURLを含む電子メールを開くことにより、そのURLに応じたWebページを自動的に開くことができる。また、URL別にID及びパスワードを管理している為、認証処理が必要なWebページであっても自動的に開くことが可能である。

【0057】図11は、本発明の情報ページ表示方法の

第2実施例の説明図を示す。例えばプロバイダが利用者端末12bの利用者にURLを通知したいと考えた場合、プロバイダはHP通知メール作成手段50を利用して図12のような電子メール52を作成する。

【0058】図12は、複数のURLを含む電子メールの一例のイメージ図を示す。電子メール52は利用者端末12bの利用者宛であり、例えば本文中に複数のURL53及び管理番号54が記載されている。電子メール52の本文中に記載された複数のURL53は、プロバイダが利用者端末12bの利用者に通知したいと考えたURLである。電子メール52の本文中に記載された管理番号54は、利用者端末12bに送信した電子メールを管理する為の番号である。

【0059】HP通知メール作成手段50は電子メール52を作成する一方、電子メール52に応じてメールアドレス、URL、管理番号、有効期限、アクセス回数、アクセスメールアドレス、ID及びパスワード等を図13のような利用者管理ファイル46に格納する。図13は、利用者管理ファイルの一例の構成図を示す。

【0060】プロバイダは、メール送信手段51を利用して電子メール52をインターネット13に送信する。Webサーバ11は利用者管理ファイル46を有することにより、利用者端末12bに送信した電子メールを管理できる。

【0061】メールサーバ10は、Webサーバ11から送信された電子メール52を受信してメールボックス34に格納する。メールサーバ10は、利用者端末12bのメール受信手段35からの要求に応じて、利用者端末12bの利用者宛の電子メールをメール受信手段35に供給する。利用者端末12bは、例えば図14のような手順で処理を行なう。

【0062】図14は、URLを含む電子メールを受信した利用者端末の処理の一例のフローチャートを示す。なお、図14のステップS50～S55の処理は、図5のステップS10～S15の処理と同様であるので説明を省略する。

【0063】ステップS56では、ブラウジングシステム連携手段38が電子メール52を検索し、電子メール52に管理番号54が含まれていればその管理番号54を取得する。ステップS56に続いてステップS57に進み、ブラウジングシステム連携手段38は、電子メール52に管理番号54が含まれていたか否かを判定する。

【0064】電子メール52に管理番号54が含まれていたと判定すると（S57においてYES）、ブラウジングシステム連携手段38はステップS58に進む。一方、電子メール52に管理番号54が含まれていなかったと判定すると（S57においてNO）、ブラウジングシステム連携手段38はステップS59に進む。

【0065】ステップS58では、ブラウジングシステ

ム連携手段38がURLのパラメータに管理番号及び電子メール52の宛先アドレスを設定してステップS59に進む。

【0066】ステップS59では、ブラウジングシステム連携手段38がブラウジングシステム41を起動し、URLをブラウジングシステム41に供給する。ブラウジングシステム41はブラウジングシステム連携手段38からURLが供給され、そのURLに応じたWebページをWebサーバ11に要求する。Webサーバ11は、例えば図15のような手順で処理を行なう。

【0067】図15は、Webサーバの処理の他の一例のフローチャートを示す。なお、図15のステップS60～S61の処理は、図8のステップS20～S21の処理と同様であるので説明を省略する。

【0068】ステップS62では、認証システム45が供給されたURLのパラメータから管理番号及びメールアドレスを取得する。認証システム45は利用者管理ファイル46を利用することで、取得した管理番号及びメールアドレスのチェックを行なう。例えば認証システム45は、取得した管理番号及びメールアドレスが利用者管理ファイル46に含まれているか否かのチェックを行なう。

【0069】ステップS62に続いてステップS63に進み、認証システム45は取得した管理番号のチェックがOKと判定すると（S63においてYES）、ステップS64に進む。認証システム45は、取得したメールアドレスのチェックがOKでない場合に、取得したメールアドレスをアクセスメールアドレスとして利用者管理ファイル46に格納する。

【0070】ステップS64では、Webサーバ11がHTMLファイル47からURLに応じたWebページを読み出し、そのWebページを利用者端末12bのブラウジングシステム41に送信する。

【0071】一方、認証システム45は、取得した管理番号のチェックがOKでないと判定すると（S63においてNO）、ステップS65に進む。ステップS65では、Webサーバ11がHTMLファイル47から認証画面を読み出し、その認証画面を利用者端末12bのブラウジングシステム41に送信する。

【0072】利用者端末12bは、Webサーバ11からURLに応じたWebページ又は認証画面が供給される。URLに応じたWebページが供給された場合、利用者端末12bは前述した図9のような手順で処理を行なう。また、認証画面が供給された場合、利用者端末12bは前述した図10のような手順で処理を行なう。

【0073】したがって、図11の第2実施例によれば、利用者端末12bの利用者はURLを含む電子メールを開くことにより、そのURLに応じたWebページを自動的に開くことができる。また、プロバイダは、利用者管理ファイル46を有することで、利用者端末12

bの利用者に送信した電子メールを管理することが可能である。

【0074】なお、Webページは情報ページに相当し、情報ページのアドレスがURLに相当し、情報ページ取得表示手段がブラウザに相当する。

【0075】本発明は、以下に記載する付記のような構成が考えられる。

(付記1) コンピュータに、電子メールから情報ページのアドレスを検索するアドレス検索手順と、検索した情報ページのアドレスを情報ページ取得表示手段に供給し、前記情報ページ取得表示手段に前記アドレスに応じた情報ページを所定のネットワークから取得させて表示させる情報ページ表示手順とを実行させる為の情報ページ表示プログラム。

(付記2) 前記情報ページ表示手順は、検索した情報ページのアドレスに対応するユーザ識別情報を読み出し、読み出したユーザ識別情報を前記情報ページのアドレスに付加するユーザ識別情報付加手順と、前記情報ページ取得表示手段を起動させ、ユーザ識別情報を付加した情報ページのアドレスを供給するアドレス供給手順と、前記情報ページ取得表示手段に、前記アドレスに応じた情報ページを所定のネットワークから取得させて表示させる情報ページ取得表示手順とを有することを特徴とする付記1記載の情報ページ表示プログラム。

(付記3) 前記情報ページ表示手順は、検索した情報ページのアドレスが1つ以上あるときに、所定の設定条件に応じて前記情報ページのアドレスを1つずつ前記情報ページ取得表示手段に供給するアドレス供給手順と、前記情報ページ取得表示手段に、前記アドレスに応じた情報ページを所定のネットワークから取得させて1つずつ表示させる情報ページ取得表示手順とを有することを特徴とする付記1記載の情報ページ表示プログラム。

(付記4) 前記情報ページ表示手順は、検索した情報ページのアドレスが1つ以上あるときに、所定の設定条件に応じて前記情報ページのアドレスを全て前記情報ページ取得表示手段に供給するアドレス供給手順と、前記情報ページ取得表示手段に、前記アドレスに応じた情報ページを所定のネットワークから取得させて全て表示させる情報ページ取得表示手順とを有することを特徴とする付記1記載の情報ページ表示プログラム。

(付記5) 付記1乃至4何れか一項記載の情報ページ表示プログラムを含むことを特徴とする電子メールプログラム。

(付記6) コンピュータに、電子メールから情報ページのアドレスを検索するアドレス検索手順と、検索した情報ページのアドレスを情報ページ取得表示手段に供給し、前記情報ページ取得表示手段に前記アドレスに応じた情報ページを所定のネットワークから取得させて表示させる情報ページ表示手順とを実行させる為の情報ページ表示プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能

な記録媒体。

(付記7) コンピュータを用いて所定のネットワークから情報ページを取得し、取得した情報ページを表示する情報ページ表示方法であって、電子メールから情報ページのアドレスを検索するアドレス検索段階と、検索した情報ページのアドレスを情報ページ取得表示手段に供給し、前記情報ページ取得表示手段に前記アドレスに応じた情報ページを所定のネットワークから取得させて表示させる情報ページ表示段階とを有することを特徴とする情報ページ表示方法。

【0076】

【発明の効果】上述の如く、本発明によれば、電子メールから情報ページのアドレスを検索して情報ページ取得表示手段に供給することにより、情報ページ取得表示手段に情報ページのアドレスに応じた情報ページを所定のネットワークから取得させて表示させることができる。したがって、電子メールに含まれる情報ページのアドレスに応じた情報ページを少ない手順で表示することが可能である。

【0077】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の情報ページ表示方法を実現するシステムの一実施例の構成図である。

【図2】本発明の情報ページ表示方法を実現する利用者端末の一実施例の構成図である。

【図3】本発明の情報ページ表示方法の第1実施例の説明図である。

【図4】URLを含む電子メールの一例のイメージ図である。

【図5】URLを含む電子メールを受信した利用者端末の処理の一例のフローチャートである。

【図6】ブラウジング管理ファイルの一例の構成図である。

【図7】URL別ID/パスワード管理ファイルの一例の構成図である。

【図8】Webサーバの処理の一例のフローチャートである。

【図9】URLに応じたWebページが供給された場合の利用者端末の処理の一例のフローチャートである。

【図10】認証画面が供給された場合の利用者端末の処理の一例のフローチャートである。

【図11】本発明の情報ページ表示方法の第2実施例の説明図である。

【図12】複数のURLを含む電子メールの一例のイメージ図である。

【図13】利用者管理ファイルの一例の構成図である。

【図14】URLを含む電子メールを受信した利用者端末の処理の一例のフローチャートである。

【図15】Webサーバの処理の他の一例のフローチャートである。

13

【符号の説明】

- 1 システム
 10 メールサーバ
 11 Webサーバ
 12, 12a~12n 利用者端末
 13 インターネット
 21 入力装置
 22 表示装置
 23 ドライブ装置
 24 記録媒体
 25 補助記憶装置
 26 メモリ装置
 27 演算処理装置
 28 インターフェース装置

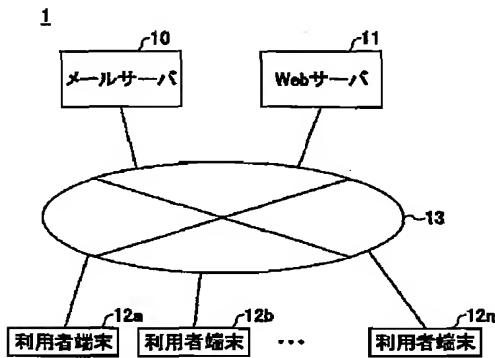
*

14

- * 29 データベース (DB)
 30, 53 URL (Uniform Resource Locator)
 33, 52 電子メール
 35 メール受信手段
 36 メール解析手段
 38 ブラウジングシステム連携手段
 39 ブラウジング管理ファイル
 40 ID/パスワード管理ファイル
 41 ブラウジングシステム
 10 45 認証システム
 46 利用者管理ファイル
 47 HTMLファイル
 B バス

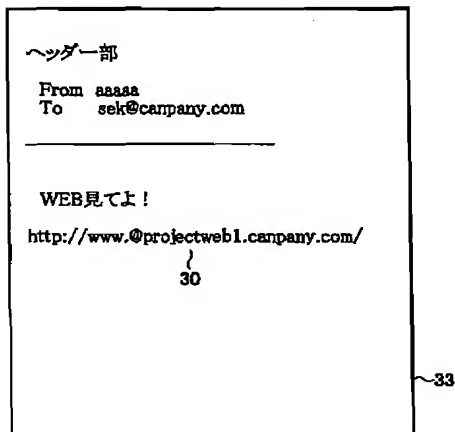
【図1】

本発明の情報ページ表示方法を実現するシステムの一実施例の構成図



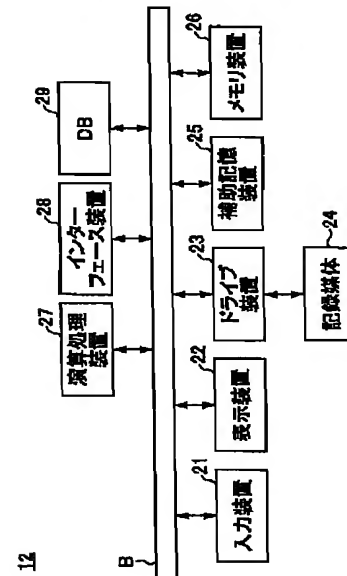
【図4】

URLを含む電子メールの一例のイメージ図



【図2】

本発明の情報ページ表示方法を実現する利用者端末の一実施例の構成図



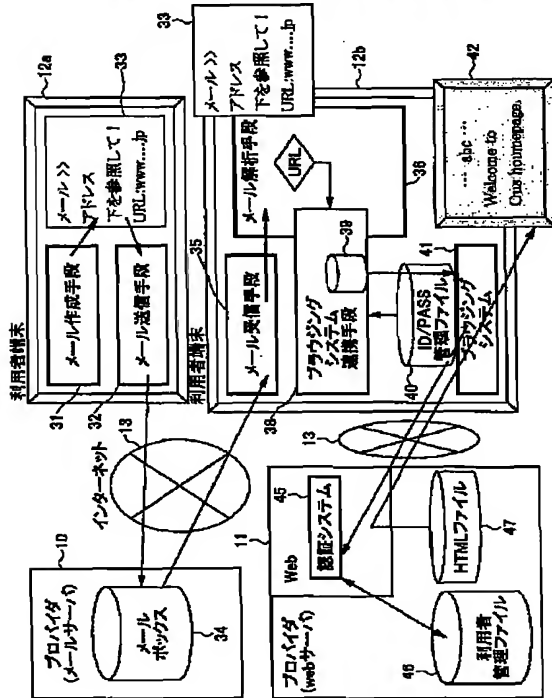
【図6】

ブラウジング管理ファイルの一例の構成図

管理パラメータA	管理パラメータB
0	0
0:URLを開く 1:URLを開かない	0:最初のURLを開く 1:全部のURLを開く

【図3】

本発明の情報ページ表示方法の第1実施例の説明図



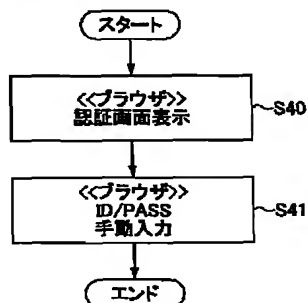
【図7】

URL別ID/パスワード管理ファイルの一例の構成図

URL	ID	PASS
www.proj.company.co.jp	member1	password1
www.a.co.jp	kain1	password01

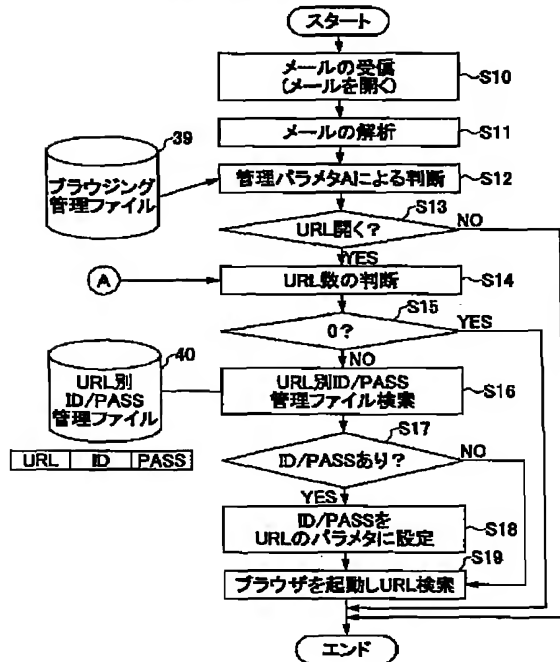
【図10】

認証画面が供給された場合の利用者端末の処理の一例のフローチャート



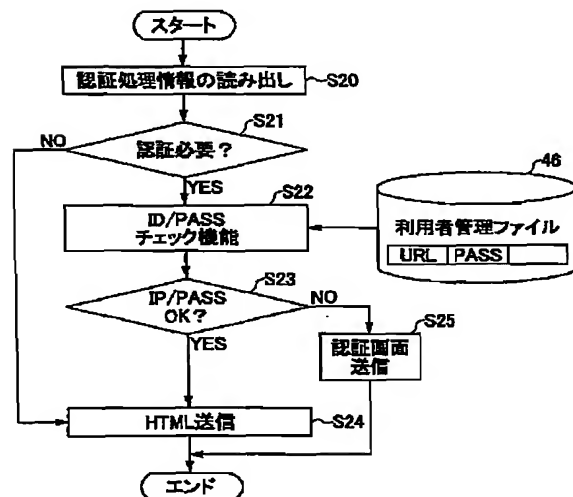
【図5】

URLを含む電子メールを受信した利用者端末の処理の一例のフローチャート



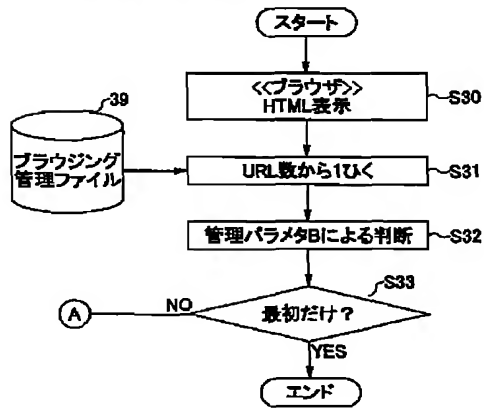
【図8】

Webサーバの処理の一例のフローチャート



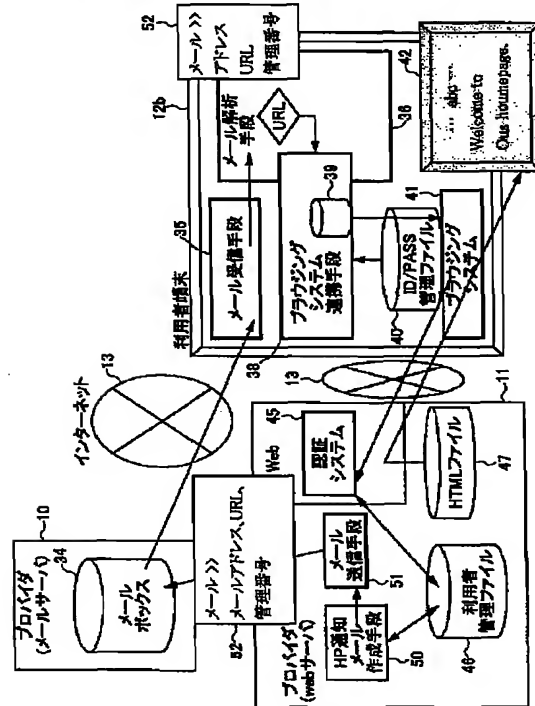
【図9】

URLに応じたWebページが供給された場合の
利用者端末の処理の一例のフローチャート



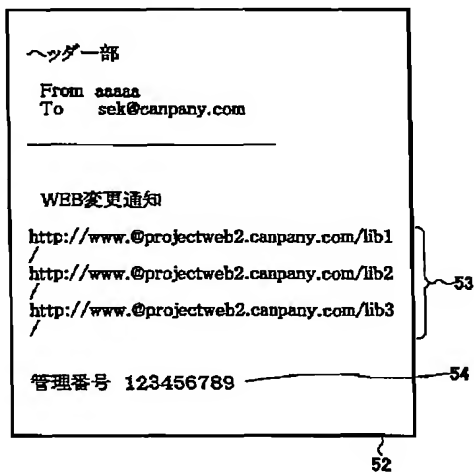
【图 1-1】

本発明の情報ページ表示方法の第2実施例の説明図



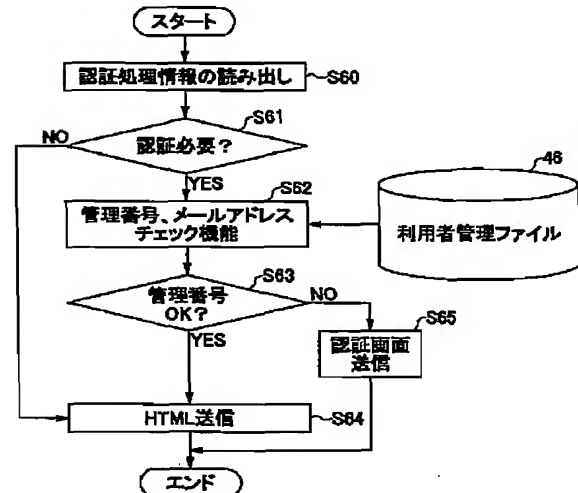
【图 12】

複数のURLを含む電子メールの一例のイメージ図



【图 15】

Webサーバの処理の他の一例のフローチャート



【図13】

利用者管理ファイルの一例の構成図

メールアドレス	url	管理番号	有効期限	アクセス回数	アクセスメールアドレス	ID	PASS
se1@se.canpany.com	www.projectweb1.canpany.co.jp	se120010101001	2001010110	1	se8@canpany.com	member2	abc
se2@se.canpany.com	www.projectweb1.canpany.co.jp	se220010101002	2001010110	0		member3	def
sek@se.canpany.com	www.projectweb1.canpany.co.jp	sek20010101003	2001010110	0		member4	ghi
sek@se.canpany.com	www.projectweb2.canpany.co.jp/1b1	sek20010101004	2001010110	1	sek@se.canpany.com	member4	jkl

【図14】

URLを含む電子メールを受信した利用者端末の処理の他の一例のフローチャート

